

特記事項に書かれている「●」について

名古屋市

「●」は、どんな
時についているか、
ご存じですか。



スキルアップちゃん

下記①～③(調査員が判断し選択している項目)に該当する場合、
本市では「審査会で注目し確認をしてもらう」ため認定事務セン
ターで、該当する項目の特記事項の文末に「●」をつけています。

① 調査員が判断に迷った時

② より頻回な状況で選択したとき

③ 適切な状況で選択したとき

○ 審査会で調査員の選択が妥当かど
うか、確認します。

調査員の選択をバックアップする
仕組みです。

①、②、③に当てはまる場合は、対
象者固有の「介護の手間」がある場
合があります。

※ 4月号は「①調査員が判断に迷った時」についてのポイントをお伝えします。

「① 調査員が判断に迷った時」

認定調査員テキスト P19参照

どうしたらいいか
なあ



スキルアップちゃん

基本調査項目の定義にうまく
当てはまらず、選択の判断に
迷うことはないですか？

基本調査項目の定義にうまく当てはまらない場合等、判断に迷う際
は、各基本調査項目の定義等に基づき選択した上で、対象者の具
体的な状況（①介護の手間、②手間の出現頻度、③選択に迷っ
た状況等）と認定調査員の判断根拠等 を記載します。

調査員が「迷った」という事、その上でどう判断したかを特記
事項に記入することが大切です。

介護認定審査会は、特記事項等を用いて一次判定の修正・確定、
二次判定を行います。

point !



迷ったこと、判断
した根拠を記入し
てね



スキルアップちゃん

認定調査の実施および留意点

認定調査は全国一律の方法によって、公平公正で客観的かつ正確に行われる必要があります。



新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、やむを得ず以下のようなことがありました。

- ・調査時間が十分とれなかった（面接時間を制限された）
- ・病室や個室に入れず、日頃の状況の確認が十分できなかった
- ・確認動作を実施することができなかった。
- ・病院や施設の調査で家族に立ち会ってもらえなかった。

コロナ禍ではやむを得ずできなかったことがありましたね

コロナ前の生活に戻ってきました。
認定調査も本来あるべき方法で実施するようお願いいたします。

○調査場所・・・日頃の状況を把握できる場所

やむを得ずデイサービスや自宅に入れず玄関先での調査など日頃の状況を把握できない場所での調査を行う時はその理由を記載する

○立ち会い者・・・対象者本人からだけでなく、日頃の状況を把握している立ち会い者からも聞き取り

○「目に見える」「確認しうる」という事実により調査を行う

○「能力」で評価する項目は、原則対象者に行ってもらって行ってもらえなかった場合は理由を特記事項に記載する



認定調査スキルアップちらし
令和6年5月号

特記事項に書かれている「●」について

名古屋市

「●」は、どんな時についているか、ご存じですか。

下記①～③（調査員が判断し選択している項目）に該当する場合、本市では「審査会で注目し確認をしてもらう」ため認定事務センターで、該当する項目の特記事項の文末に「●」をつけています。



スキルアップちゃん

- ① 調査員が判断に迷ったとき
- ② より頻回な状況で選択したとき
- ③ 適切な状況で選択したとき

○ 審査会で調査員の選択が妥当かどうか、確認します。

調査員の選択をバックアップする仕組みです。

①、②、③に当てはまる場合は、対象者固有の「介護の手間」がある場合があります。

※5月号は「② より頻回な状況で選択したとき」についてのポイントをお伝えします。



「② より頻回な状況で選択したとき」

認定調査員テキスト P24～参照



(例) 2-5 排尿

場面	行われている介助 (不適切ではないとする)	選択肢	頻度
日中	トイレで自立	【介助されていない】	6回/日
夜間	ポータブルトイレで排尿 (ポータブルトイレの後始末は家族が朝一括で行う)	【一部介助】	2回/日

介助が発生しているのに「介助されていない」を選択してもやまずわ



スキルアップちゃん

- ① 場面ごとの具体的な介助の方法を聞きとる。
- ② 頻度を比較
- ③ より頻回な状況で選択: 上記の場合は「介助されていない」
- ④ 場面ごとの介護の手間及び頻度は特記事項に記載する。

選択肢に反映されていない介護の手間は…
介護認定審査会の二次判定で検討されます。



point !

スキルアップちゃん

(特記事項の例) 2-5 排尿

日中の 排尿の一連の行為はトイレで行っている。失敗もない。夜間は転倒の不安がありポータブルトイレを使用。(日中6回、夜間2回) ポータブルトイレの後始末は朝家族が行っている。より頻回な状況より「介助されていない」を選択する。

認定調査スキルアップちらし
令和6年6月号

特記事項に書かれている「●」について

名古屋市



「●」は、どんな
時についているか、
ご存じですか。



スキルアップちゃん

下記①～③(調査員が判断し選択している項目)に該当する場合、本市では「審査会で注目し確認をしてもらう」ため認定事務センターで、該当する項目の特記事項の文末に「●」をつけています。

- ① 調査員が判断に迷ったとき
- ② より頻回な状況で選択したとき
- ③ 適切な状況で選択したとき

○ 審査会で調査員の選択が妥当かどうか、確認します。

調査員の選択をバックアップする仕組みです。

①、②、③に当てはまる場合は、対象者固有の「介護の手間」がある場合があります。

※ 6月号は「③ 適切な状況で選択したとき」についてのポイントをお伝えします。

「③ 適切な状況で選択したとき」

認定調査員テキスト P23～介助の方法参照



不適切な状況の特記事項を記載するのは難しいな...



スキルアップちゃん

「実際の介助の方法」が不適切と判断したとき

「介助がされていない」状態や「実際に行われている介助」が対象者にとって「不適切」と認定調査員が判断する場合は、その理由を特記事項に記載した上で適切な介助の方法を選択し、介護認定審査会に判断を仰ぐことができます。

（特記事項の例） 2-5 排尿

独居。排尿の一連の行為はトイレで行っている。（回数は不明）本人は「失敗はない、パットの交換も自分でできている」と言う。

実際はパットの交換がうまくできておらずパンパンになり尿漏れ、ひどい尿臭がある。デイサービスでは、時間毎のトイレへの誘導やトイレ内での声掛けがあれば失敗はほとんどない。

適切な介助の方法として、トイレへの誘導、声掛け、見守りが必要と判断し、「見守り等」を選択する。

聞き取った状況

①不適切と判断した状況・理由

②調査員が考える適切な介助の方法

point !

①「不適切」と判断した状況・理由を具体的に記載し②調査員が考える適切な介助の方法を記載



スキルアップちゃん

認定調査スキルアップちらし
令和6年7月号

「介護の手間」を
忘れずに記載し
ていますか。



スキルアップちゃん

<お知らせ>

令和6年7月～10月の4か月間

「第4群 精神・行動障害」の項目についてさらに
充実した記載を目指し、取り組みを行います！



びいちゃん

スキルアッ
プちらし

精神・行動障害に特化し、聞き取りや 特記事項の記載ポイントを掲載します。

問合せ

特記事項の記載が不十分な場合、特に具体的な介護の手間及び頻度の情報について詳しく聞き取らせていただきます。

特記事項の記入のPoint！

区分	視点	留意点
①選択基準	「行動」の「頻度」	実際の対応や介護の手間とは関係なく選択
②特記事項	「介護の手間」	具体的な介護の手間と頻度



調査時の確認事項

①選択基準

- * 社会生活上、場面や目的からみて不適当な行動の頻度
- * 一定期間(調査日より過去1か月)の状況からその行動が現れたかどうかに基づいて選択
- * 実際の対応や介護の手間とは関係なく選択

②特記事項

- * 発生している具体的な「介護の手間」・「頻度」の記載
 - ・介護者の対応及びその時間、回数等を記入すること
 - ・手間がかかっていないという記載も重要
- * 定義に当てはまらない事でも、「介護の手間」が発生している場合は、具体的な「介護の手間」・「頻度」



一つの行動で、複数の項目を選択することがあります。複数選択をした場合、特記事項はまとめて書きましょう。

認定調査スキルアップちらし
令和6年8月号

第4群の確認方法・記入内容
(認定調査員テキストP114 ～)

令和6年7月～10月の4か月間
「第4群 精神・行動障害」の項目についてさらに充実した記載を目指し、取り組みを行います！



特記事項記載のPoint

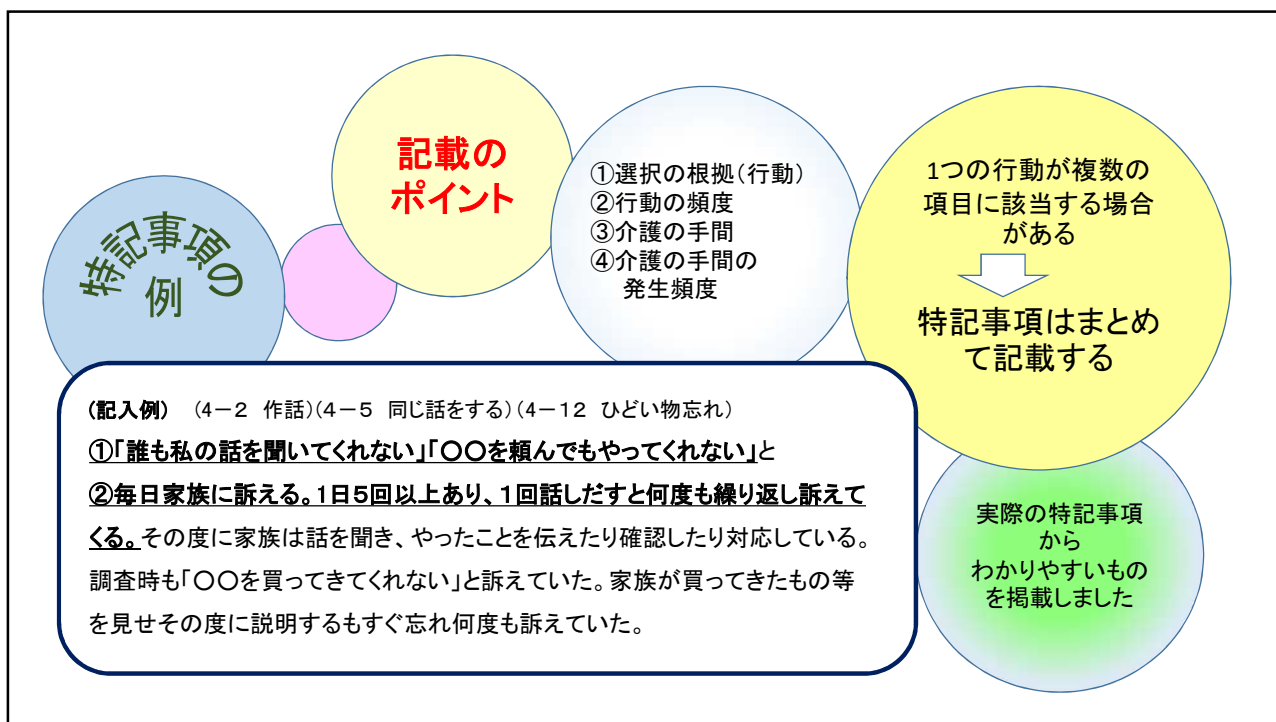
- ①選択の根拠(行動)
- ②行動の頻度
- ③介護の手間
- ④介護の手間の発生頻度



8月は①②の強化をします。


記載が不十分な場合は問い合わせをします

区分・記入の順番	視点	調査時の確認事項	記入内容 特記事項へ①～④を記入しましょう。
選択基準	「行動」の「頻度」	★実際の対応や介護の手間とは関係なく、社会生活上、場面や目的からみて不適当な行動があるか、あればその行動の頻度	①選択の根拠となる行動 (どのような行動が起こっているか) ②行動の頻度 【例えば・毎日(1日●回)、1回/週(1回15分程度)等】



認定調査スキルアップちらし
令和6年9月号


令和6年7月～10月の4か月間
「第4群 精神・行動障害」の項目についてさらに充実した
記載を目指し、取り組みを行います！



びいちゃん

第4群の確認方法・記入内容
(認定調査員テキストP114 ～)

①選択の根拠(行動)
②行動の頻度
③介護の手間
④介護の手間の発生頻度



9月は③④の強化をします。

最も重要な記載内容です。
記載が不十分な場合は
問い合わせをします

特記事項記載のポイント

区分	視点	調査時の確認事項	記入内容 特記事項へ①～④を記入しましょう。
介護の手間	介護者の対応 頻度 かかる時間	★発生している具体的な「介護の手間」・「頻度」 ★定義に当てはまらない事でも、「介護の手間」が発生している場合は、具体的な「介護の手間」・「頻度」	③介護の手間 ・介護者がどのように対応しているか ・手間がかかっていないという記載も重要 ④介護の手間の発生頻度 対応の回数やその時間 【例えば・毎日(1日●回)、1回/週(1回5分程度)、日中の対応が多い等】

特記事項の例

記載のポイント

- ① 選択の根拠（行動）
- ② 行動の頻度
- ③ 介護の手間
- ④ 介護の手間の発生頻度

1つの行動が複数の項目に該当する場合がある

特記事項はまとめて記載する



（記入例）（4-5）同じ話をする

①「ごはん食べたかしら」「今度の病院はいつだったかしら」等と気になることがあると家族に②1日に何度も尋ねる。

③家族はその度に「食べたよ」、「〇〇だよ」等回答するが、④10～15分経つとまた同じことを聞いてくる。返答しないとつこく聞いてくるため、毎回対応している。10回以上続く時と2～3回で終わる時とまちまちである。

（記入例）（4-5）同じ話をする（4-8）落ち着きなし

①夕食が終わる頃、「家に帰りたい」「今から家に戻る」と、落ち着きなく何度も訴える。職員が下膳している間に食堂から出て行ってしまふ。②（毎日）③職員と一緒に施設の中を歩きながら、気が変わるよう話をする。気分が変わり部屋に戻るのに④毎日20～30分かかる。



審査会委員より、特記事項の記入について、ご意見をいただきました。



スキルアップちゃん

① すべての項目（74項目）に特記事項を記載をしましょう。

（「できる」「介助されていない」「ない」を選択する項目についてもその状況を記載してください。）

「できる」の選択でもまったく問題なくできるのか、やっとなのか、介助されていないであって楽々できているのか、やっとなのか 等 個人差があります。どのようにできるかを記載ください。

② できない事だけでなく、できることも記載しましょう。

例えば...「1-7 歩行」【できない】5mの継続歩行はできない。だが、

「2-2 移動」【介助されていない】何とか自分で家具等につかまり、移動している。転倒する事はない。

（トイレ6回/日、食堂3回/日、洗面所2回/日）

記載ポイント



「歩行はできない」だが、「移動は介助されていない」→歩行はどれくらいできるんだろう？

「1-7 歩行」【できない】壁や家具につかまり2～3mの歩行は可能だが、5mの継続歩行はできない。

③ 「日頃の状況」を聞き取った記載があるが、どのような関係の人から聞き取ったのかの記載しましょう。

独居と共通に記載がある。立会者の記載がなく、排泄の介助や4群の対応に息子、娘の記載があるが、この内容は誰から聞きとったものだろうか？

記載ポイント



立会者：夫、妻、（同居or別居）娘、息子 等 より聞き取った。

独居のため立会者はいない。デイサービス利用時の状況を施設職員に確認した 等 と記載があるとわかりやすい。